



認定特定非営利活動（NPO）法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 24

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①井坪先生記念道場(ポツワナ) ②リサイクル柔道衣を着て(パラオ) ③本法人元研修生(パレスチナ)
④本法人元研修生がヨーロッパ選手権で再会(ボスニアヘルツェゴビナ) ⑥第12回通常総会・交流会(東京・港区)

国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

Promoting mutual prosperity through the international spread of judo.

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟(IJF)には、200を超える国と地域が加盟しています。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通し日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

Passing on the spirit of Japanese judo by enabling cultural exchange with various countries.

現在の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

Finding the best way to help children develop is what is important now.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。



特定非営利活動法人(神奈川県認定)
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第24号

2018年9月1日発行 Published 1st of September 2018

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 24

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

第12回通常総会 挨拶より抜粋

本法人活動終了の決定まで



2018年6月14日、通常総会で語る山下理事長

会員の皆様に、本法人の活動を今年度で終了する旨をお知らせいたしました。皆様からは事務局に様々なご意見をお寄せいただきました。そのようなことを踏まえ、本日は私から三点のお話をさせていただきます。

一つ目は、私の今の状況についてのお話です。2013年の1月、日本の柔道界で女子ナショナルチームでの暴力が発覚しました。その結果、8月に全日本柔道連盟の執行部、大半の理事、評議員が退任する事態となりました。その後、新日鐵住金の宗岡正二会長が、全柔連の会長の職を引き受けて下さいました。住友金属と新日鐵が合併して1年足らず、会長兼CEOをお務めの宗岡さんが、火中の栗を拾って下さいました。宗岡会長に「理事は辞めず、一人の副会長として支えてほしい」と言われ、皆さんと副会長として全柔連の改革に取り組み、2015年8月には国際柔道連盟の理事になりました。昨年は、国際柔道連盟の職務を中心として、年間約60日、一昨年は約70日、海外に出ています。

また、私は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向け、日本オリンピック委員会の選手強化本部長を務めております。選手強化の総責任者の立場です。このような事情が重なり、ここ4、5年、私自身は本法人の活動にほとんど関わってこれませんでした。皆様から多くの浄財をいただきながら、理事長である私がおのほとんどに関わっていないということは、私にとりまして非常に辛い部分がありました。他の方に理事長をお引き受けただいて、活動を継続するという事も考えましたが、今までと同様の支援を得るのは難しいだろう、ということになりました。

二つ目は、全柔連の副会長に就任した際、全柔連においても、本法人と同じような、「柔道だから出来る国際交流や国際貢献。柔道を通して日本の心を世界に広げる。日本と世界をつなぐ架け橋になる」という活動をやって行きたいと考えておりました。そして、全柔連の改革がある程度進んだ年に、宗岡会長にそれを提案し、本法人で展開している、「リサイクル柔道衣・畳支援活動」「学生ボランティアの海外派遣事業」といった国際活動を全柔連でも始めました。

私は、これらの事業は日本の柔道界を巻き込んでやるべきだと考えております。本法人で実施しますと、東海大学の学生や教職員の協力を仰ぐこととなります。特に指導者派遣に関しては、どうしても東海大学関係者が多くなります。日本の多くの柔道人に「柔道だからこそ出来る国際貢献」というものを認識してもらいたいという思いがありました。私もいずれ定年を迎えて東海大学を退職します。その時に、私がいなくなることで活動が無くなる様な形ではなく、この精神がずっと根付くような形にしたいと思っておりました。全柔連でこの国際活動がスタートした当初は、ノウハウも無く、本法人が影で支えるというような状況でした。しかし今では、全柔連の国際課でも若い職員がやる気になって燃えております。日本の柔道界の次の時代を担う若いリーダーの中に、「こうした国際貢献は柔道界全体でやるべきことだ」という認識を持っている人たちが多く育ってきています。

三つ目、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが終わった頃に、私も65歳になります。ひとつの移行する時期かなど漠然と考えておりました。また、認定NPO法人の更新を来年の1月26日に控え、更新するための労力、認定期限の5年間を考え、2年前倒しにして、来年を一つの区切りとしようと考えた次第です。

以上のような、様々な思いがございまして、今回の通常総会に、本法人を閉じるというお話をさせていただきました。皆様には、これまでのご支援に対する感謝の気持ちで一杯でございます。本法人の精神、魂は、全日本柔道連盟、日本の柔道界、あるいは日本のスポーツ界で受け継ぎ、さらにそれを発展させて行きたいと思っています。これまでご支援いただいたことに心から感謝、御礼を申し上げ、そして我々のこういった判断、決断を何卒ご理解を賜るようお願いする次第でございます。

主な活動 - Major Activities - (2018年1月～6月)

2月



リサイクル柔道衣がキリバス・ボツワナ・インドネシアに到着



2月25日～3月8日ボツワナに指導者を派遣

5月



5月22日～27日、ロシア・サンクトペテルブルグで柔道教室開催



5月25日～6月3日、イギリス人柔道指導者を受入れる

3月



3月1日、柔道体験教室を開催



3月25日～4月3日、モルドバに指導者及び学生ボランティアを派遣

4月



4月4日～9日、インドネシア・バリ島の子どもたちを招へい

6月



リサイクル柔道衣・畳がコロンビア・パラオ・エルサルバドルに到着



6月12日～19日中国南京チームを受入れる



6月14日第19回講演会を開催

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

世界の柔道仲間へ！リサイクル柔道衣・畳を支援



キリバス

Kiribati

2018年2月、キリバスに送付したリサイクル柔道衣8着が到着しました。（一社）日本キリバス協会の代表理事で前キリバス共和国名誉領事・大使顧問のケンタロ・オノ氏のご協力の下、キリバスナショナルチームに贈呈されました。

キリバス柔道連盟 エディ・カロウア会長



柔道衣を支援してくださった皆さまに感謝を申し上げます。

いただいた柔道衣は、キリバスナショナル柔道チームとして初めて参加する、2018年4月開催のオセアニア柔道大会で使用させていただきます。

私たちは、設立間もない柔道連盟ですが、教育的価値の高い柔道の青少年や一般市民への普及に力を尽くしていきます。今後とも皆さまと良い関係が続くことを願っております。



コロンビア

Columbia

2018年3月にコロンビアに送付したリサイクル柔道衣40着が、同年6月コロンビア日系人協会に贈呈されました。



贈呈式は、日系人協会付属の日本語学校50周年の式典にあわせ行われ、山下理事長のメッセージを森下敬一郎駐コロンビア日本国大使が代読して下さいました。

この柔道衣を使用し、日系人協会では柔道の練習が開始されました。コロンビアには、合計100着贈呈する予定です。



ボツワナ

Botswana

ボツワナの「Sensei Istubo Memorial Dojo 井坪先生記念道場」の指導者派遣に合わせ、リサイクル柔道衣50着を運んでいただきました。2018年3月2日、柔道場にて引き渡し式を開催しました



贈呈式には、在ボツワナ日本大使より竹田浩三大使、モンワケツェ青少年地位向上・スポーツ文化開発省副次官などボツワナ柔道連盟の関係者が参加しました。柔道衣は井坪先生記念道場で練習を行う選手たちに配布され、その選手たちは2020年の東京オリンピックの出場を目標に練習に励みます。



インドネシア

Indonesia

2018年2月にインドネシア・バリ島の仙石道場の子どもたちに、リサイクル柔道衣56着を贈呈しました。



2018年2月、インドネシア・バリ島の仙石国際国際道場ホール (BALI - INDONESIA Sengoku International Judo Hall) へ柔道指導に赴いた須貝等氏を通し、リサイクル柔道衣を贈呈していただきました。



エルサルバドル

El Salvador

2018年3月に送付したリサイクル畳とリサイクル柔道衣が、同年6月にエルサルバドルに到着しました。

サンサルバドル柔道連盟



畳と柔道衣に感謝いたします。皆さまの寄付により、多くの子どもたちがサンサルバドルで柔道に取り組めるようになるでしょう。これが日本とエルサルバドルとの友好の懸け橋になるよう願っています。本当にありがとうございます。

エルサルバドルのサンサルバドルの道場は、コーチングセミナー2016研修生のリチャード・クルスさんが指導にあたっています。



パラオ

Parau

2018年6月にパラオの子どもたちに、リサイクル柔道衣15着を贈呈しました。



コーチングセミナー2016研修生のジェニファー・アンソンさんが東京オリンピックに向け、日本で強化練習を行いました。

その際、子ども用リサイクル柔道衣15着を贈呈しました。ジェニファーさんは、パラオで新しい指導法を考え、子どもたちの指導にあたっています。

一般指導者派遣事業

ボツワナ「井坪先生記念道場」

2018年2月25日～3月8日、ボツワナの「井坪先生記念道場」に須貝等氏、蹴揚将行氏を派遣しました。

Mr. Hitoshi Sugai and Mr. Masayuki Keage were sent to Sensei Itsubo Memorial Dojo from February 25th to March 8th 2018.



井坪先生記念道場での指導



Botsalano小学校では、教室にマットを敷き指導を行った



在ボツワナ日本大使が激励に来てくださいました

以前指導した子どもたちの成長を実感 蹴揚将行

到着後、ボツワナ柔道連盟より歓迎を受けました。翌日には、日本大使館及びボツワナ青少年地位向上・スポーツ文化開発省を表敬訪問しました。

現地の柔道は、「児童向けクラス」「社会人向けクラス」「シニアクラス」「軍人向けクラス」「指導者向けクラス」に分けられていました。井坪先生記念道場を中心に、各小学校や道場、軍事施設内の柔道場にて、巡回柔道指導をさせて頂きました。

Botsalano小学校、Tepping Stone(NGO)での指導では、講義や技術指導の際、みんな緊張していました。コミュニケーションを取りながら緊張をほぐし、背負い投げや一本背負い投げ等の技術指導を行い、一人一人に理解してもらうよう心掛けて指導しました。子ども達には、柔道の技術だけではなく、礼節の大切さや柔道の志す上で大切な相手を敬う気持ち、感謝を持つ心を持つこと伝えました。

私は、柔道の教育的価値を知り、楽しさを知ってもらうことが柔道普及につながっていくと考えております。その事を子供達にわかりやすく指導していくことが、今後の自分自身の課題であると感じました。子ども達は、時間と共に元気一杯、明るく、伸び伸びと、楽しく稽古に励んでおり、子ども達の学ぶ姿勢、指導者の子ども達に対する接し方や情熱は、大変勉強になりました。今回で二度目のボツワナ訪問ですが、以前指導した子ども達が、オリンピック選手や指導者、教育者となって活躍し、指導している姿を見ることが出来て、とても嬉しかったです。

ボツワナ・ハボローネは、東海大学出身で青年海外協力隊員として柔道普及に尽力された井坪圭佑氏が指導しておりました。しかし、彼は2013年南アフリカで不慮の事故により亡くなりました。とても誠実で、志の高い青年であり、ボツワナの子供たちの成長を誰よりも楽しみにしておりました。井坪氏の教えである「礼節を重んじること。柔道に一生懸命に取り組むこと等」彼の教えがボツワナの子供達や選手、指導者の心の中に生き続けていることに、とても感動いたしました。

帰国前日に、ボツワナ柔道連盟会長が宿泊施設のホテルに会いに来られました。「柔道教育ソリダリティーの支援に感謝すると共に、指導に来て下さったこと、指導によりたくさんの子供達が喜んでくれたことに、感謝の気持ちで一杯です」と言ってくださいました。

私ごとで大変恐縮ですが、今回の巡回指導では先輩である須貝先生と共に、「井坪先生記念道場」にて、ボツワナの子供たちに指導することができ、とても感慨深いものがありました。アフリカの地で真摯に柔道に取り組んでいる彼らの発展を祈念するとともに、私自身も応援していきたいと思っております。

竹田大使はじめ、阿部書記官、現地通訳のラオネさんには、大変お世話になりました。皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。

海外柔道普及支援事業

サンクトペテルブルグ柔道教室を開催

浅井信幸ロシア交流担当をロシア・サンクトペテルブルグで行われた「第6回アナトリー・ラフリン記念ロシア全国少年柔道大会」に派遣し、ラフリン道場で柔道教室を開催しました。

Mr. Nobuyuki Asai attended the Anatoly Rakhlin Memorial National Youth Judo Championship in St. Petersburg, Russia.



サンクトペテルブルグ、ラフリン道場にて指導を行った

本法人閉鎖後も交流を続けていきたい 浅井信幸

ラフリン先生を記念して行われる本大会も今年で6回目となり、ラフリン先生の誕生日である5月23日に、サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムの一環として開催されました。先生の教え子でもあるウラジミール・プーチン大統領を迎え、16カ国、12～14歳の男女約350名が参加し、熱戦が繰り広げられました。優勝者には本法人の「柔道・友情・平和」というスローガンがプリントされたナップサックに入れた柔道衣が贈られました。

翌日、ラフリン先生の道場で浅井が柔道教室を行いました。稽古の最後に、「柔道では、戦う相手は敵ではない。相手がいるから自分を磨き高めることができる。相手を敬う心が大切。柔道の精神を人生に生かし、皆が人生のチャンピオンになってほしい。柔道を通じて、世界中で友情を育んでほしい。それが、平和への一歩になる」とメッセージを伝えました。

この柔道教室では、ラフリン先生の教え子で、本法人で半年間2回にわたり研修を受けたカーチャ・プラステヴァさんがアシスタントを務めてくれました。

一般指導者・学生ボランティア派遣事業

モルドバで柔道教室開催！

2018年3月25日～4月3日、モルドバに一般指導者として佐藤茂士氏、学生ボランティアとして尾方寿應さんを派遣しました。

Mr. Shigeshi Sato and Mr. Toshimasa Ogata were sent to Moldova from March 25th to April 3rd 2018.

旧東欧の神秘の国に根付いた柔道文化 佐藤茂士



空港で歓迎を受けた佐藤氏、尾方さん



国立体育大学(通称スポーツ)少年柔道教室

この度、身に余るご高配の下、モルドバ共和国での柔道指導の任務を賜った。なお、尾方寿應君(以下尾方講師)が、献身的な姿勢で協力帯同してくれたことは心強いものであった。この場をお借りして謹んで感謝する次第である。

これまで、モルドバへの日本人の指導は、3回実施されている。現地での指導でまず感じたことは、前任者達の礎が鮮明に存在したということである。混乱なく、より自然な形で指導に専念することができた。前任者達が残してくれた礎に対して、敬意を表す次第である。

モルドバの柔道スタイルは、旧ソ連に所属していた経緯から、ロシアスタイルである。しかし、日本柔道に対する敬意、私達の指導内容に対し積極的に乗りながら熱心に取り組んでくれたことが印象的であった。また、未知の世界への可能性を求め挑戦しようとする探求心には感銘を受けた。

現地指導者達の様子を観察して感じたことは、ヨーロッパを中心に試合及び合宿へ積極的に出場・参加しているものの、少々の外れなところが見受けられたところである。指導者の強化に対する指針というべき明確な見え方が備わっているかという疑問である。指導者達にフォーカスした形のコーチング強化プログラム実施が急務であると提案する。

滞在期間中、幾度となく、モルドバの少年柔道の現状を垣間見る機会に恵まれた。印象的だったのは、国立体育大学が運営する少年柔道教室へ立ち寄ったことと、バレルコーチからのオファーで実現した地方の少年柔道視察であった。遥か彼方にある異国の地で、日本と全く同じ光景を目にし、素直に感謝の気持ちが沸き、目頭が熱くなった。

この度、モルドバで実感したことは、「柔道は世界の共通言語に成り得る」ということである。明確な共通のテーマが存在すれば、お互いの共同作業で何とかイメージを創造できる。共感・共鳴の感触を得るのは難しくない。その媒介となるのが柔道である。それぞれの思いを上手に中和させ、良い塩梅に微調整する役割を担う。粋でステキな文化である。

最後に、この報告が、日本国とモルドバ共和国における民間外交レベルの交流の橋渡しとなり、好井大使の話された「モルドバにおける『真の民主化』を日本がお手伝いしたい」という日本の世界における役割の一役を担えれば幸いです。

日本の柔道は素晴らしい！の言葉を嬉しく感じました 尾方寿應

柔道教育ソリダリティーの学生ボランティアとして佐藤茂士先生に同行させて頂き、モルドバで柔道指導をしてきました。モルドバは、旧ソ連から独立した国のため、柔道スタイルがヨーロッパスタイルであると自分の中で勝手にイメージしていたのですが、釣手と引手をしっかり持ち日本人とさほど変わらない柔道スタイルで驚きました。

現地到着後、2日目から佐藤先生とともに練習メニューを考えて練習を行いました。その中で印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、組手や技の技術指導をする時に「人に教える」という難しさを感じました。現地通訳の方もいたのですが、なるべく自分の力で伝えようと思い、拙い英語ではありますが、なんとか伝える努力をしました。ですが、やはり上手にできていない部分やあたふたしてしまう場面もあったように思います。そんな中でも、選手たちは、目を輝かせて自分の話を聞いていました。それに、やりがいを感じると同時に、海外では先生やコーチが技術指導するということが当たり前なことではないのかもしれないと思いました。選手だけでなく、指導者の方からも組手について、たくさん質問が出ました。そして、「日本の柔道は素晴らしい！」と言って頂き、とても嬉しかったです。

二つ目は、モルドバの選手たちも日本の選手同様に柔道を愛しているということです。ナショナルチームはもちろんですが、少年柔道の小さい子供たちも楽しそうに柔道をしていて、みんな柔道が好きなのだと感じました。私自身も初心に返ることができました。柔道指導だけでなく、選手と一緒に打ち込みや乱取りなどを行いました。グランプリやグランドスラムに出場し、結果を残している選手と組み合わせる機会もあり、強さを肌で感じました。改めて海外との交流や重要性を再確認できました。

このような貴重な経験をさせて頂き、これからの選手生活、東海大学柔道部コーチとして、多くの人生に活かせることが多く収穫が大きかったと思います。モルドバで出会った方々とお世話していただいた先生方などに大変感謝いたします。ありがとうございました。



日本スタイルで実践されたレクチャーの様子



シニア・ナショナルチームの皆さんと練習後に

講演会・シンポジウム事業

第19回講演会「戦争とスポーツの間で」

2018年6月14日、東京都港区インターコンチネンタル東京ベイにて、講師に明石康氏をお招きし、第19回講演会「戦争とスポーツの間で」を開催しました。

The 19th lecture "Somewhere Between Sport and War" was held at intercontinental Tokyo bay on June 14th 2018.



講演会での明石康氏、約120名の聴講者が参加した

国連事務次長として多くの活動をされてきた明石氏を招き、2018年6月14日第19回講演会「戦争とスポーツの間で」を開催しました。明石氏は、国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)事務総長特別代表、ユーゴスラビア紛争收拾のため旧ユーゴ問題担当・事務総長特別代表を務められた経験から、「平和でないとスポーツは出来ない」と初めに話されました。

オリンピックがギリシャで始まった当時から、人々の生活には紛争や争いごとが多くあったこと。オリンピックを平和のために利用することを目的として、オリンピック休戦ができ、それが現在でも続いていることを話されました。2018年平昌冬季大会でオリンピック休戦財団は、多くの署名を集め、南北合同韓国チームが実現し、その良い影響が、南北首脳会談の実現につながったこと。この活動は、2020年東京オリンピックへと受け継がれ、日本でも活動が広がっていることを話されました。

「スポーツは、時に戦争に巻き込まれることがある。政治的な理由で、スポーツイベントがボイコットされることもある。どうしたら、スポーツを紛争や戦争から守ることができるのか？スポーツが平和のため、世のために貢献できることはないか？多くの人が考え続けている。平昌冬季オリンピックに出場したスピードスケートの小平奈緒選手と李相花選手のように、国境、政治的背景、イデオロギーを超えたスポーツの友情は、全ての人に良い影響を与えることができる。オリンピックが、ナショナリズムの罠にかかることのないよう。国を超えて、皆が1人の人間として、スポーツをすること。それが、平和の祭典であるオリンピックを成功させる要因ではないか？」と締めくくりました。

留学生柔道体験

Let's Enjoy Judo!

2018年3月1日、フィンランド国民高等学校JOUTSENO OPISTO(ヨウツェノ国民高等学校・学院)の学生を対象に柔道体験教室を開催しました。

Trial judo class for foreign exchange from Finland Joutseno Opisto students was held on March 1st 2018.



ヴァンハネン・サリ (女性)

柔道は、とても楽しかったです。このような経験をしたことはありませんでした。柔道の動きは、美しく、特に、富士山の名前の形が印象に残りました。他に技の背景、動きの意味を学びました。柔道の基礎を学べたことが楽しかったです。手伝ってくださったアシスタントの方々にもお礼を言いたいです。

カールソン・シリヤ (女性)

初めて体験した柔道教室で、柔道の規律を学びそれに魅力を感じました。指導は理解しやすい方法で、貴重な経験をさせていただきました。皆様の協力に感謝いたします。

国際柔道研究者会 (IAJR)

イギリス柔道指導者が来日！

2018年5月25日～6月3日の期間、イギリス柔道NHC(Northern Home Counties Area)より柔道指導者19名が来日しました。IAJR代表のマイク・カレン氏が本研修を企画、交渉しました。



Judo coaches from northern home counties area in England visited Japan from May 25th to June 3rd 2018.

東京滞在中、講道館や松前柔道塾の練習に参加、東京学生柔道優勝大会を視察しました。また、永昌寺、新宿御苑、東御苑を訪問、書道や茶道の体験を行いました。その後、東海大学に滞在。本法人の活動やPrinciples of Judoの演題で、橋本敏明副理事長、光本国際担当師範が講義を行いました。

国際青少年柔道大会

仙石柔道ホールの子ども達が来日！

2018年4月4日～9日、インドネシア・バリ島、仙石柔道ホールの子ども達が来日し、「第2回ガーヤちゃん杯争奪越谷少年柔道大会」に出場しました。

Children from the Sengoku International Judo Hall in Bali visited Japan from April 4th to 9th 2018.



リコオ (男子・小学5年生)

日本に着くと、町にゴミ一つないことが不思議でした。電車に乗るのが初めてで、全部自動なのに驚きました。柔道の試合は先生が話していた通り、とても強かったです。僕たちを日本へ行けるように助けていただきました多くの人たちに感謝します。

アリ (男子・小学5年生)

僕は、日本のことをたくさん本で調べました。実際の日本は全てが「夢の国」のようで、驚きました。

試合は、相手は小さかったのですが、多くの技があり、負けてしまいました。柔道は得意技を持たないと相手を倒せないことを学びました。支援して下さった人たちに感謝します。

海外柔道普及支援事業

南京チームを受入れました！



2018年6月12日～19日の期間、中国江蘇省の南京市強化ジュニアチームを受け入れました。本法人元研修生の常東氏がチームを引率し来日しました。

Nanjing Jr team from Jiangsu Province China visited Japan from June 12th to 19th 2018.

南京柔道チームは、東海大学で光本国際担当師範及び真田先生の指導を受け、練馬区立貫井中学校、平塚市立金目中学校、東海大学付属相模高等学校を訪問し、日本の柔道について幅広く学びました。

主な実施事業

2018年6月～

外国への指導者派遣事業



2018年7月、アメリカ・チャールストンの福田敬子柔道トレーニングキャンプに指導者を派遣。

A general instructor was sent to Fukuda Keiko Judo training camp in July 2018.



2018年9月、アメリカ・アナポリス海軍士官学校へ指導者を派遣。

A general instructor was sent to Annapolis, USA in September 2018.

外国への指導者派遣事業



2018年10月、トルコ・アンカラのシリア人難民キャンプに指導者を派遣。

General instructors will be sent to Ankara, Turkey in October 2018.



2019年、ボスニアヘルツェゴビナに学生ボランティアを派遣。

Student volunteers will be sent to Bosnia and Herzegovina in 2019.

コーチングセミナー2018



2018年11月～12月、コーチングセミナー2018を開催。

We will held Coaching Seminar in November and December 2018.

外国からの指導者・選手受入支援



東京オリンピックを目指す選手を随時受入れます。(コンゴ難民のポポル選手、ボツワナよりガビン選手)

We accept judo players toward Tokyo Olympics 2020.

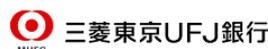
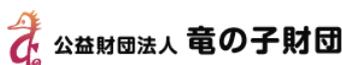
リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、本法人事務局宛にヤマト運輸又は佐川急便で着払いでお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

2018年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters — 2018年8月31日現在



(株)ゲン・テック・ホールディングス、三井物産(株)、羽田タートルサービス(株)、日本たばこ産業(株)、(学)東海大学、内海晴和企画(株)、ミズノ(株) 早川繊維工業(株)、(公財)竜の子財団、秀和ビルメンテナンス(株)、(株)豆蔵ホールディングス、アスカコーポレーション(株)、(株)神田製作所 大成建設(株)、(株)小松製作所、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行

(株)アイデア、新井運送(株)、石井化成工業(株)、(株)ウージンジャパン、(株)S・Yワークス、(株)小郡衛生公社
 (株)小田原百貨店、(株)霞ヶ関東海倶楽部、(株)カトー、神奈川県柔道連盟、京王電鉄(株)、健康コミュニティしずおか
 (株)鈴廣蒲鉾本店、(株)成通、タカインターナショナル(株)、田園調布 内海商店
 (公財)東京コミュニティー財団・ファンドクリエーション基金、(有)ハイテック石英、浜友観光(株)、富士ゼロックス神奈川(株)
 (株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(株)マルヤナギ小倉屋、(株)ミツウロコビバレッジ、(株)三菱UFJ銀行
 (学)メイ・ウシヤマ学園、(特非)勇気の翼インクルージョン、(株)レンブラントホールディングス、(株)わかば
 アサヒ飲料(株)、(株)アットライズ、(株)ういろう、植木会計事務所、(株)上原不動産、(株)エスアールシー
 大峰堂薬品工業(株)、(学)加計学園、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、(学)国際学園九州医療スポーツ専門学校
 共和電子(株)、(株)興徳クリーナー、(株)廣洋、相模トラリアム(株)、(株)ゼネラル、総合警備保障(株)、大成建設(株)
 (株)タムラ製作所、(株)ダイナミックスパースンズ東京、(株)築地すし好、(株)電通、東海ウイング(株)
 東海教育産業(株)、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、トランス・コスモス(株)
 (一社)日中柔道文化研究会、(公社)日本柔道整復師会、日本駐車場救急サービス(株)、日本BS放送(株)
 (医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)パロマ、ヒューマンズ・ネット(株)
 (株)フォーラムエイト、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、(株)山口工務店、横浜市柔道協会
 (株)ランクアップ平野屋、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)ワールドラボ、(株)わくわくコーポレーション

個人支援者に関してましては、ホームページの協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp/collaborator>

	個人	団体
正会員	260	58
寄付	18	29
アドバイザー	37	

量支援: 石化成工業(株)、手塚道場、日本福祉大学

(50音順)

本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。
趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありませぬ

- 郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
- 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953
 口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕
 トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ
 横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726
 口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕
 トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ